

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社フクザワコーポレーション）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、相談窓口を設置している ・半期ごとに従業員と上司が共同で「成長支援シート」を作成し、客観的な基準に基づいて勤務姿勢・技能を評価している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定めている ・全社員が外部研修に参加してハラスメントの実例について学習している ・社員の子育て応援宣言(長野県)に登録している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・週に2日「ノー残業デー」を設定し、残業時間の減少に取り組んでいる ・建設部の年間休日日数の増加に取り組んでいる (2020年休日日数122日→2025年休日日数123日)								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・2025年10月現在、外国人労働者は在籍していない ・就業規則で差別を行わないことを定めている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・各建設現場で、作業前に危険予知活動(KY)を行い、指差し確認を実施している ・建設部の朝礼でヒヤリハット事例を報告し、全員で共有している ・取締役を店社安全衛生管理者に任命し、毎月のハローロール活動、是正報告を実施している			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスの専門機関とコンサルティング契約を結び、不安や悩みなどの相談を受け付ける窓口を設置、全社員に周知している ・新入社員一人一人に担当の先輩社員がついて公私の相談ができる「メンター制度」を導入している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・60歳定年以降の技術者を再雇用している ・女性の土木技術者・事務職員(けんせつ小町)の採用を積極的に行っている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・長野県認定のバックボウ・型枠社内検定制度があり、練習機会の提供と技術レベルに基づいた人材配置を行っている				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・労働基準法に則った給与体系を構築している ・若者応援宣言ふるさと企業に登録している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康づくりチャレンジ宣言(協会けんぽ)にエントリーしている ・健康経営優良法人2025(経済産業省)に認定されている ・毎年全従業員を対象に、健康診断とインフルエンザの予防接種を実施している			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・産業廃棄物の数量・種類を台帳に管理している ・毎月の店社パトロールにて、廃材の保管、搬出、処理方法をチェックしている											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・ISO14001を取得し、経営陣が主導して環境マネジメントに取り組んでいる ・電気、ガス、水道の利用量を集計・蓄積している							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	・社用車にハイブリッド車の導入を開始した ・【予定】温室効果ガスの排出量管理を実施する							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、排出量削減の計画を策定している ・会社保有の焼却炉利用の際は、ゴミの分別を徹底し、有害物質の発生量削減に配慮している			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・工事現場周辺に生息する希少動植物の保全に配慮している(保護鳥類の営巣に合わせた工事日程調節、希少植物の移植、水棲生物の保護)						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・建設資材について、丁寧に扱い再利用回数を増やすことで、廃材排出量が少なくなるよう取り組んでいる										12.5		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・水道の利用状況を管理している ・【予定】節水型の蛇口、トイレ設備を導入予定						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO14001を取得している			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	・自社ホームページ上で環境に対する取り組みに関する情報開示を行う											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2					13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・コンクリートの使用量を減らし、代わりに現場発生土を使用する「INSEM工法」を積極的に採用している												12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・汚職や贈収賄を行った者は懲戒解雇する旨を就業規則に明記し、不正行為の撲滅を社内に呼びかけている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・会計・経理・決算・入札にかかわる不正行為を行った者は懲戒解雇する旨を就業規則に明記し、不正行為の撲滅を社内に呼びかけている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社及び関連会社で開発した製品は、NETIS(国土交通省新技術情報提供システム)に登録申請を行い、適正に情報管理をしている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・従業員の個人情報に関して、紙データは施錠された保管庫に保存している。また、電子データは役職者のみが閲覧できるサーバに保存している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・使用資材のサプライチェーンを把握している ・現在、紛争鉱物を含んだ製品の利用は無し																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3				8	9	10								17

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISO9001に基づき、品質管理を徹底している			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・社内での勉強会を定期的に実施し、品質管理知識の向上と国家資格(土木施工管理技士等)の取得を推奨している ・工事完了後、近隣住民の方に満足度調査のアンケートをお願いし、ご意見のフィードバックを実施している						9											
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								6							12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・県でも有数の豪雪地帯に本店を構えることから、地域住民の安全かつ快適な交通を実現するべく除雪業務を行っている ・老朽化の進む道路・橋梁の補修や、荒廃化する山間地の治山を通して、地域住民のインフラ整備に取り組んでいる ・建設業従事者の減少および高齢化の進行という課題に対し、工事事務を簡素化するシステムを開発・提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・地元住民を対象に工事説明会を実施し、要望を取り入れている。 ・薬品や機械油等の流出、河川・土壌汚染が発生しないよう細心の注意を払って施工している				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工事の一環として、地域住民のための活動(清掃活動、地元イベントへの協力など)を積極的に行っている				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・工事用資材(丁張材、工事看板等)に県内産木材を優先的に使用している								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化しており、朝礼や期末の反省会で全社員に説明、共有している								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・労働基準法やその他法令を順守する旨を就業規則に明記し、社内への浸透を図っている																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・経営陣がCSRの意識を持ち、率先して情報収集や関係各所への対応を行っている																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・定期的にステークホルダーと対話の場を設け、意見の集約と反映を行っている ・工事説明会を実施して、周辺住民の方のご要望を聴取、最大限反映するよう努めている																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・ISOのリスクマネジメントに基づいて現場ごとのチェックリストを作成・運用している。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・災害発生時等の緊急時に、率先して安全確保・復旧活動に取り組むことを使命とし、各種団体と災害応急対策業務契約を交わしている																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・レジリエンス認証を取得済み ・基礎的事業継続力認定(関東地方整備局)を受けている									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・ISO9001をもとに各種マニュアルの整備を実施している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・ インターンシップ、現場見学会の実施		・ 次世代の担い手を育成するため、積極的に現場見学を実施し、建設業への理解を深めてもらえるよう取り組んでいる				4.4													
・ I C T 施工による生産性向上		・ マシンガイダンス/コントロールシステムを導入し、非熟練運転手でも重機の適切な操縦を可能にし、労働時間削減および生産性向上を図っている								8.2									

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・ 【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定